

サタデー コラム

クセスです。

方法は、①名古屋駅から車で会場入り②名古屋駅からJRで岐阜駅に乗り換え、③名古屋駅から名鉄の座席指定車を使用④岐阜羽

最短で17分、各駅停車でも30分以内と、効率性に勝っています。しかし問題点として、座席指定のある列車は、特急のしらすぎやひ

中村正・秋田屋本店社長

県内観光者に快適性を

県経済同友会では、毎月講師を招いて会員例会を行っています。講師のほとんどは東京から岐阜入りし、会場に来られます。講演が始まるまでの間、同友会代表として、おもてなしタイムがあり、お話を聞きます。その席でよく話題になるのが東京から新幹線で名古屋に着いた後、会場までの交通ア

島駅から車で会場入り。主には四つのパターンになります。講師の方々は多忙で、時間を最優先し、次に快適性を考えられます。時間の効率性となる②になります。新幹線に乗り換え、乗車時間は

だが、名古屋から岐阜の間は辛抱していただくしかありません。こういった現状に対して同じ悩みを各界、各所からよく聞きます。会社のお客さま、そして何より岐阜を訪れる観光客にとって快適性は大切な要

先月宇都宮市で開催された、第31回全国経済同友会セミナーでは、国宝は鶴飼、金華山、長良川など観光資源はあっても観光客が多いとはいえない。日本人、外国人問わず、岐阜市を訪れた人は安らぎを感じ、感動し、また来てみたいとなるといいです。ではなぜ増えないの

でしょうか。その理由の一つとして名古屋から岐阜への交通アクセスの問題があります。名古屋、岐阜間は近くて便利なようですが、観光客、訪問客にとっては優しくはありません。せつかく優雅な旅行気分でも名古屋まで来て、名古屋、岐阜間は日常の世界となってしまう。もし30分に1本の割合で列車に座席確保の車両が1両でもあれば、次第です。



なかむら・ただし 1951年、岐阜市生まれ。博士(医学)。県経済同

友会筆頭代表幹事。岐阜南法人会長。県製菓協会。長。みづばちの家庭理事長。県養蜂組合連合会長。県研究開発財団評議員。岐阜放送番組審議会委員。県フェンシング協会。長。県立岐阜北高校同窓会長。